

# 岐阜県美濃加茂市大手町公園アジサイ植栽計画について

## 1. はじめに

私が岐阜県美濃加茂市でのアジサイ植栽計画を選定した理由は、加茂農林高等学校でのアジサイを使った地域交流活動の経験を活かし、新たにアジサイを使った地域交流活動をおこなってみたいと思ったからである。

## 2. 研究目的

今回の計画のきっかけは、美濃加茂市の顔である美濃太田駅があまりにも殺風景であり、もっとアジサイの花であふれた街にしたいという思いから活動している美濃加茂商工会議所女性会の依頼があった。高校で得たアジサイの知識を生かし、アジサイのあふれる街づくりの第一歩となる計画を立てることを目的とした。

## 3. 現地調査・ヒアリング・計画

### 3.1 現地調査

調査対象の岐阜県美濃加茂市にある大手町公園は、美濃太田駅北口側にあり、駅やバス利用者が訪れる公園である。場所は、公園入口付近にある看板下（写真 - 1）を植栽計画地として、調査をおこなった。現地は、開けていて日当たりがよく日陰の少ない場所である。調査は、看板下と隣接するシダレザクラ付近の測量をおこなった。その際、看板下には 40 cm 程の埋め込み式ライトが 3 器あり、植栽計画を立てる際、注意することが必要だと確認できた。近くにはバスの待合所があり、また、公園を抜けて目的地まで行くための抜け道がある。この抜け道は幅 1,2m、長さ 10m であった。



写真 - 1 大手町公園看板下

### 3.2 ヒアリング

美濃加茂商工会議所で女性会に対して 12 月 5 日、ヒアリングをした。ヒアリングの際に提案した計画は、市の花であるアジサイを多くの人に見てもらいたいとの思いから、人通りの多い大手町公園の入り口付近看板下の植栽を提案した。大手町公園入り口付近看板下は、日なたの場所が多く、駅側の植栽予定地は一日中日が当たる場所で、日陰をつくらないとアジサイの植栽が難しいと考えられる。しかし、看板下や樹木により、比較的日陰の時間が長い場所もありその場所でのアジサイの植栽は可能であると考えた。公園を利用する人が、一目で市の花がアジサイであるように、青色のアジサイの植栽計画と葉焼け対策、花の鑑賞期間を延ばすために 1 日中日が当たるような場所には日影ができるよう、樹木の植栽計画を提案した。

ヒアリングの結果、樹木の植栽は難しいとのことから日の当たる場所ではアナベル、日陰では青色のアジサイを植栽する計画となった。植栽予定地の一部に植栽してあったアジサイは、計画地の横にある看板の下に移植をするとした。そして、抜け道の利用が多いことから、抜け道の舗装が必要であると同時に、現在植栽してあるアジサイを見て、植栽の間隔を考えた植栽計画を立てることが必要だと思った。

### 3.3 計画

植栽計画は、移植することを前提としたアジサイを 50 cm 間隔で植栽する計画案（図 - 1）と、移植を前提としない 100 cm 間隔で植栽する計画案（図 - 2）の二つをあげた。50 cm 間隔の案は、移植の手間がかかるが、密植されているので、植栽直後も美しい。日照時間が長い駅側の場所は、比較的に日差しに強いアナベルを植栽し、日陰になりやすい場所は青色のアジサイの植栽を考えている。また、適切な植栽間隔は 100 cm なので、数年後成長にあわせて移植が必要なる。100 cm 間隔の案は、先程の案と同様の植物の植栽をする予定である。しかし、100 cm 間隔なので成長するまでは殺風景になる可能性があるが、移植の手間がないところはメリットである。

舗装計画予定の抜け道は、幅 1.2m、長さ 10m となっており、人が歩いてできた道なので舗装が必要だと考え、あくまでアジサイがメインなので花が引き立つような石として、近江石とジャワ鉄平の計画を立てた。

土づくり案は、アジサイは特に土質を選ばないが、水はけのよい腐植質の多い肥沃な土地よいということから、腐葉土や堆肥をよく混ぜ、柔らかい土にする。アナベルは、水はけがよい土に植え、午後の西日が強い場所は株もとにマルチングをして暑さの対策をするとよいので、マルチングの計画を立てている。

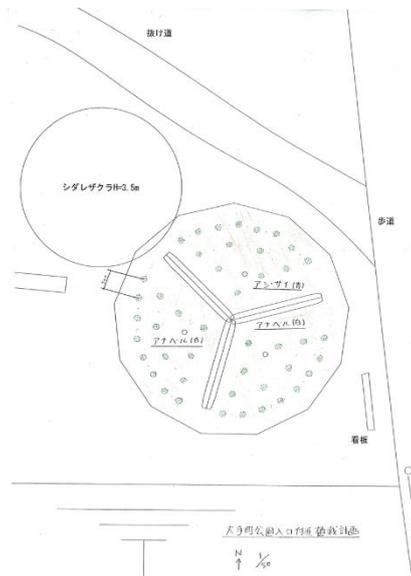


図 - 1 植栽計画平面図 (50 cm 計画案) 1/200



図 - 2 植栽計画平面図 (100 cm 計画案) 1/200

### 4. まとめ

今回の研究を通して、女性会の方と今後活動していく際にアジサイの植栽の方法の確立や管理の方法の確立が必要であるとヒアリングの際に思った。今後の課題として、大手町公園看板下の植栽や抜け道の舗装では今回提案した計画を参考に、女性会の方と方針を決めていくこと、女性会の方だけでも美濃加茂市にアジサイの植栽ができるようにアジサイの植栽、管理方法を覚えてもらうことが必要だと考えている。そして、女性会とのヒアリングの際でもあった通り、市の花であるアジサイが市民の目に触れる機会が少ないので植栽活動をして、市の中にアジサイを増やすことが必要であると改めて感じた。今回、初めて植栽計画を立てたが、自分が学んできたアジサイの知識や経験、新しい知識を生かしたとても良い計画になった。この計画を通して数年後には美濃加茂市がアジサイの溢れる町になってほしい、その第一歩になってほしいと思っている。